

2010年度 早稲田大学 文学部

日本史 解答例

I 旧石器時代～古墳時代の比較 <やや難>

問1 (1)イ (2)オ (3)イ (4)オ (5)オ

問2 ウ 問3 コシヤマイン

難問は問1 (1)・(3)・(5)。(1)はどれも誤文に見えるが、山梨県金生遺跡で縄文時代のイノシシの幼獣骨が115体も出土しており、イノシシを飼育していた可能性が指摘されているため、牧畜の「明確な証拠はない」とは言い切れない。また(5)は、本年度の人間科学部の問題中で終末期古墳を「7世紀」としていることから、この問題の「7世紀末から8世紀にかけて」という部分を誤りとして作問していると判断した。終末期古墳は、おそくとも8世紀初期までのものをいう。

II 律令国家の民衆の負担 <標準>

問1 エ 問2 ウ 問3 木簡 問4 エ

問5 ア 問6 軍団 問7 イ 問8 オ

難問は問5・7。ただし、早稲田では2005年にも2学部で出挙についての問題が出題されていたので、問5は正解しやすく感じた人もいるかもしれない。

III 中世の軍記物語 <やや難>

問1 源平盛衰記 問2 イ 問3 太平記

問4 ウ・エ 問5 オ 問6 ウ 問7 義経記

問1・7が難問。問3・4・5も苦しんだ人がいるだろうか。この3問は単なる用語暗記にとどまらず、もう一段階深めた学習が必要だった。

IV 近世前期の外交 <やや易>

問1 勘合貿易 問2 ア・ウ 問3 己酉 問4 オ

問5 ウ・エ 問6 黒竜江 問7 エ

早稲田の定番テーマからの出題なので、落ち着いて解けば全問正解できただろう。

問6を難問と感じた人は、まさにポイントを突く学習に欠けているタイプである。

正誤問題や空欄問題で他の大学が出題しているため、そこがポイントだとの指導を受けていれば難なく解けた。

V 立憲政治の発達 <易>

問1 有司 問2 ウ 問3 オ 問4 明治十四年の政変 問5 エ

問6 和衷協同 問7 イ 問8 閥族打破 問9 エ 問10 イ

民撰議院設立建白書は有名史料だが、空欄Aは問われにくい箇所だったためとまどった受験生がいるだろう。しかし、よく史料を読解すれば、この史料問題でのキーワードである「有司」がふさわしいことに気づく。正解できなかった人は、定番史料対策をしたうえで、史料を読解して解く練習をしよう。

VI 江戸時代の洋学 <やや易>

問1 坪内逍遙 問2 イ 問3 イ 問4 ウ

問5 杉田玄白 問6 新元会 問7 ウ

文学部定番の文化史図版問題だが、例年の簡単さはなかった。「新元会」の記述問題に備えていた人は少ないだろう。また、杉田玄白もヒントが少ないため悩まされたかもしれない。本学部では資料集(図説)をよく見ることが求められている。

講評

例年より難易度が高まった。原始・古代の正誤問題でかなり悩まされるものがあったり、文学部であるためかマイナーな文学作品名を書かせたりしている。例年の文化史問題の正解率が高かったことの反動だろうか。